

## 相模原市・座間市総合防災訓練に参加して 「絆をつなぐ、退職自衛官の防災活動」

県北支部は、相模原市及び座間市と「大規模災害時における隊友会の協力に関する協定」を結んでいます。この協定は、大規模災害が発生した際、県北支部の会員が被災現場の情報を両市へ提供し、行政の初動対応を支援することを目的としています。また、平時の訓練を通じて、その実効性の向上を図ることも大切な取り組みの一つとして規定されています。

本年は、八月三十一日（日）に相模総合補給廠一部返還地で行われた「相模原市総合防災訓練」と、十月四日（土）に座間市立座間小学校で行われた「座間市総合防災訓練」に参加しました。いずれの訓練も、協定に基づく「情報協力員」として、被災現場の状況を両市に提供するまでの一連の行動を演練しました。

相模原市との訓練は今回が初めての試みでした。政令指定都市である相模原市の訓練に参加するためにはいくつかの課題がありましたが、相模原市の危機管理部門には退職自衛官が在籍しており、その尽力によって、県北支部が訓練に参加できることとなりました。相模原市との関係を深めるための土台を構築することができたのは大きな成果です。

また、座間市の訓練では、人命救助訓練において要救助者役としても参加し、消防隊員が実施する人命救助活動の緊張感を肌で感じることができました。更に、陸上自衛隊第4施設群が焼き出し訓練で調理したカレーライスを試食させていただきました。市街の被災状況を確認する参加会員



相模原総合防災訓練にて  
市街の被災状況を確認する  
参加会員



座間市総合防災訓練  
陸自偵察隊に状況報告する参加会員と参加者の士気を高めた焼き出しのカレーライス



こうした地方自治体の危機管理部門で働く退職自衛官の存在が、県北支部と両市の関係構築の中心的役割を果たしています。

二つの訓練を通じて、隊友会員である退職自衛官と市職員である退職自衛官が、それぞれの立場で、地域の防災力向上に寄与していることを改めて感じました。今後も、県北支部は両市との信頼関係を強化し、防災協定の実効性を高めるべく、訓練への積極的な参加を続けていきたいと思います。

座間市の危機管理部門にも退職自衛官が勤務しており、その退職自衛官が窓口となって事前の調整・準備から訓練当日まで円滑に連携を図ることができています。

来年も会員の皆様に訓練参加を呼びかけいたしますので、奮つてのご参加、お待ちしております。

県北支部理事（防災担当）  
岩井大

## 秋の慰靈碑等清掃のご案内

県北支部恒例の秋の殉職隊員慰靈碑等清掃を左記のとおり実施します。

ふるつてご参加下さい。

● 日時…十一月十六日（日）十時～

● 場所…緑区津久井クリーンセンター周辺  
● 申し込み締め切り…十一月十一日

参加希望の方は担当理事 在原真次まで  
お知らせ下さい。



## 県北季節の風景

厳しかった暑さもすっかり和らぎセミの大合唱から秋の虫のセレナーデに演目も変わったようです。

## 情報提供（お知らせ）

株オーチュームより、自衛隊OB向けの就職情報をご提供いただきましたので、隊友紙に折込みとして同封しています。人事担当の方は自衛隊OBで、現役時代から人望も厚く面倒見の良い方でしたので、気兼ねなくご相談いただけると思います。  
ご自身や知人の方の転職・援護によらない再就職にお役立て下さい。

### ◆◇御礼

六月に隊友紙送付に併せて十年を経過した終身会員の皆様に隊友紙経費のご負担をお願いしたところ左記の会員の皆様から負担金を超えるご寄付をいただきました。この場を借りて厚く御礼を申し上げます。支部の活動経費とさせていただきます。

記（順不同、敬称略）

小笠原 栄司、渡邊 一芳、力石 務、三谷 雄郎、  
高橋 國宏、田原 守、福田 裕、増田 陽一  
坂本 富夫、米田 浩、萩原 嘉明、義山 恒利  
望月 清、上村 哲由、水本 幾男、樋口 和彦  
長野 紀美男、飯塚 猛

小田急の線路沿いに生えてたススキをちよつと失敬し、ベランダに飾り月見と洒落込みました。  
(伊藤)



### 次号までの主な予定

県	3／四理事役会	12月13日（土）	14時00分	神奈川地本
支 部	慰靈碑等清掃	11月16日（日）	10時00分 津久井クリーンセンター	
	隊友紙仕分け	11月29日（土）	09時30分セレモア 12月20日（土）09時30分セレモア	
	3／四理事会	12月20日（土）	10時00分セレモア	

### 隊友紙配布状況

2025.10.9

区分	総数	手配り数	郵送数	手配り率
正会員	92	73	19	79%
特別会員	11	10	1	91%
計	103	83	20	81%